

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	教育委員会運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	教育総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	柴田 康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	教育行政の向上を図るため、教育委員会委員に的確な情報提供を行うとともに、小中学校での意見交換の機会を設ける。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会を設けていくほか、大幅な教育政策の変換期にあたることから、他市の動向を把握しながら、本市の新しい教育委員体制を確立する。
②①に基づく取り組み結果	公開研究会や各種学校行事に参加するほか、児童生徒の学習に取り組む現場を視察した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	教育委員会委員	意図(対象をどうするのか)	人格が高潔で、教育や学術、文化に関する認識のある者を任命する。
②事務事業の概要	毎月1回定例会を開催し、鎌ヶ谷市の教育方針や教育行政にかかわる議決事項を審議し決定している。委員長が必要と認めるとき、または委員二人以上から会議に付議する案件を示して会議の招集の請求があったときには臨時会を開催する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	27年度は大幅な教育政策の変換期にあたることから、他市の動向を把握しながら、本市の新しい教育委員体制の確立が求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	生涯学習の推進や、芸術・文化の振興、文化財の保存、スポーツの振興など教育行政に多様な民意を反映した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	定例会の回数	12	12	12	回	業務取得
	ii	臨時会の回数	3	6	5	回	業務取得
	iii	議決された案件	30	61	46	件	業務取得
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	2,327	2,436	金額(千円)	内容	2,458		
国支出金(千円)	0	0	2,298	報酬			
県支出金(千円)	0	0					
市債その他(千円)	0	0					
一般財源(千円)	2,327	2,436			2,458		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新教育委員制度への移行にあたり、他市の状況を情報共有していきたい。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	地方教育行政の組織及び運営に関する法律で設置が義務付けられており、廃止できない。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H25からの繰越	
		H25⇒26繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)					

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設維持補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2・3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柴田康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業量を拡大し、よりコスト縮減の意識を高める。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	平成26年度に実施できなかった体育館の改修工事を行う。
②①に基づく取組み結果	初富小学校集水槽設置、北部小学校プール改修、五本松小学校排水設備、鎌ヶ谷中学校他2校トイレ改修、第四中学校受水槽改修、第五中学校外壁屋上改修工事の実施完了。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校校舎・体育館	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る
②事務事業の概要	老朽化した施設、設備等について、計画的に施設改修を行い、学習環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の建設時期が一定期間に集中しており、それらが一斉に老朽化している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	予定されていた事業すべてを計画通り完了することにより学習環境の向上が図られた。					
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	算定根拠
	i	校舎工事に関する生徒/全生徒	3	8	29%	業務による取得
	ii	体育館工事に関する生徒/全生徒	46	5	0%	業務による取得
	iii	その他工事に関する生徒/全生徒	11	0	20%	業務による取得
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算	
事業費(千円)	146,816	196,017	金額(千円)	内容	199,632	
国支出金(千円)			3,945	小学校工事設計委託		
県支出金(千円)			62,176	小学校工事		
市債その他(千円)	130,000	191,000	8,463	中学校工事設計委託	179,300	
一般財源(千円)	16,816	5,017	121,433	中学校工事	20,332	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴い事業の進捗ペースを速める必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴い改修ペースを前倒しする必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	校舎外壁、トイレ改修等工事	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	計画された工事の実施完了	225,674	219,779	当初	225,674	196,017	H25からの繰越
				H25⇒26繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-5,895		
		平成27年度への繰越額(単位:千円)					

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設空調設備設置事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2・3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柴田康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	小学校9校に空調設備を設置する。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	中学校5校に空調設備を設置する。
②①に基づく取り組み結果	平成26年度小学校9校空調設備の設置完了。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内小中学校	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る。
②事務事業の概要	夏季期間の学習環境を向上させる為、教室に空調設備を設置する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	近年の猛暑に伴い空調設備の設置要望が多く、近隣市においても同様の事業が検討されている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	小学校空調設備設置工事の完了。中学校空調設備設置工事設計の完了。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	設置工事実施設計		64	100	%	実施校数/全校数
	ii	設置工事		0	64	%	実施校数/全校数
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	12,741	920,291	金額(千円)		内容		699,280
国支出金(千円)		133,345	912,321		小学校工事		90,089
県支出金(千円)			7,970		中学校設計委託		
市債その他(千円)		784,000					547,800
一般財源(千円)		2,946					61,391

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業量が大規模な為小中学校を複数年度に分け実施する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	平成26年度小学校工事の完了。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	小学校工事、中学校実施設計	平成26年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	完了	1,269,414	1,269,414	当初	10,080	920,291	H25からの繰越	912,321
				H25⇒26繰越	1,259,334			
③達成状況	完了			補正			現年分	7,970
④未完了・非着手の理由		平成27年度への繰越額(単位:千円)						0

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設非構造部材耐震改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2・3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柴田康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業量が大规模な為小中学校を複数年度に分け実施する。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	小学校9校のガラス飛散防止フィルム貼付、照明器具の耐震改修工事内容
②①に基づく取組み結果	中学校5校のガラス飛散防止フィルム貼付、照明器具の耐震改修工事を完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内全小中学校校舎・体育館	意図(対象をどうするのか)	非構造部材の安全性を確保する
②事務事業の概要	体育館天井落下防止対策、ガラス飛散防止対策、照明器具落下防止対策を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	文部科学省でも非構造部材の耐震化を積極的に進めており、特に天井落下防止対策は平成27年度完了を求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	中学校5校のガラス飛散防止フィルム貼付、照明器具の耐震改修工事を完了した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	算定根拠
	i	天井落下防止対策		100	100	% 対策済校/対象校
	ii	ガラス飛散防止対策		0	36	% 対策済校/全校
	iii	照明器具耐震対策		0	36	% 対策済校/全校
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算	
事業費(千円)	40,310	71,225	金額(千円)	内容	199,026	
国支出金(千円)	13,570	21,589	26,675	中学校ガラスフィルム貼付委託	69,763	
県支出金(千円)			37,465	中学校照明器具改修工事		
市債その他(千円)	26,700	48,100	7,085	小学校設計委託	129,200	
一般財源(千円)	40	1,536			63	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業量が大规模な為小中学校を複数年度に分け実施する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	平成26年度中学校工事の完了。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	小中学校の非構造部材耐震改修工事	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	未完了	330,396	330,396	当初	71,225	H25からの繰越	64,140
				H25⇒26繰越			
③達成状況	未完了	330,396	330,396	補正	71,225	現年分	7,085
				流用・充当			
④未完了・非着手の理由	工期の都合により小学校分が年度内に完了しなかったため。		平成27年度への繰越額(単位:千円)		199,026		

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設用地整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2・3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柴田康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	鎌ヶ谷小学校、第三中学校用地の購入を進める。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	西部小学校用地の購入。
②①に基づく取組み結果	用地購入の完了。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校施設	意図(対象をどうするのか)	施設運営に必要な用地を確保する。
②事務事業の概要	児童・生徒の活動環境向上の為、必要な用地を確保する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成27年度、西部小学校用地を購入す。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	鎌ヶ谷小学校、第三中学校用地購入の完了。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	用地の購入状況		25	75	%	購入完了/予定学校数
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	203,804	148,263	金額(千円)	内容	12,320		
国支出金(千円)	113,838		2,852	調査等委託費			
県支出金(千円)			28,892	改修工事費(テニスコート)			
市債その他(千円)	78,700	133,300	56,675	用地購入費	10,800		
一般財源(千円)	11,266	14,963	59,844	物件補償費	1,520		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成27年度に西部小学校用地の購入を進める。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	鎌ヶ谷小学校、第三中学校用地購入の完了。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	鎌ヶ谷小学校、第三中学校用地購入。	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	用地購入の完了	158,590	158,590	当初	158,590	H25からの繰越	0
				H25⇒26繰越			
③達成状況	完了			補正		現年分	148,263
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成27年度への繰越額(単位:千円)				0	